

8月5日 逍遙



今日8月5日は、いわばオサムライさん等の給料（廃藩置県後の、明治政府による秩禄支給）を、米の時価に換算して数年分を一括「金禄公債証書」として政府が発行し、その年間利子分を受け取る形になった（金禄公債発行条例公布）日です。この翌年、西南戦争が勃発したことからもお分かりいただけると思いますが、この制度により、収入が減った多くの士族等が生活に困窮し、不平・不満を高める大きな要因の一つともなりました。

その一方で、山形屋が平成30年に発刊した「山形屋二百六十七年」を読むと、この当時、生活に困窮した士族が次々と、この公債証書を手放し、商人や金融業者から生活資金を借り受けていた様子を伺い知ることができます。

時代の流れ、と言ってしまうえばそれまでかもしれませんが、今風にいえば、「大規模人員整理・大量解雇、それも大した再雇用策も無し」でしょうか。

それとも、平家物語の冒頭「祇園精舎」の如く達観すべきなのでしょう。

次回「悪口・落書きもたまには、のころ」

「再雇用 それとも

祇園精舎、のころ」